

# 計画骨子（案）の検討経緯

## これまでの取り組み

### 1. 主な成果 基本構想の実現に向けて様々な施策を推進

#### ○地域コミュニティ

- ・「品川区町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例」策定
- ・企業・大学との連携促進

#### ○産業

- ・五反田バレー取り組み推進
- ・品川産業支援交流施設「SHIP」開設

#### ○商業

- ・プレミアム付区内共通商品券発行支援

#### ○観光

- ・都市型観光・シティプロモーションの推進

#### ○文化

- ・品川区民芸術祭の開催
- ・荏原平塚総合区民会館「スクエア荏原」開設

#### ○子育て

- ・総合的な待機児童対策
- ・しながわネウボラネットワーク構築

#### ○教育

- ・小中一貫校の設置と法制度化
- ・品川コミュニティ・スクール全校展開
- ・すまいるスクール事業の充実

#### ○健康

- ・地域における健康推進体制の充実
- ・各種健（検）診の充実、予防接種の拡充
- ・健康ポイント制度導入

#### ○福祉

- ・高齢者多世代交流施設等整備
- ・特養ホーム等介護基盤整備
- ・支え愛・ほっとステーション全区展開

#### ○水辺

- ・水辺が結ぶプロジェクト(五反田川バーステーション)

#### ○環境

- ・LED化推進（街路灯・公園灯・区施設）

#### ○市街地整備

- ・「品川区空き家等の適正管理等に関する条例」制定

#### ○防災対策

- ・木密地域不燃化10年プロジェクトの推進
- ・しながわ中央公園拡張（防災拠点整備）
- ・「品川区災害対策基本条例」制定
- ・災害復旧基金・特別会計創設

#### ○生活安全

- ・防犯カメラ整備

#### ○窓口サービス

- ・日曜開庁の実施

## 将来に向けた課題

### 2. 想定される将来動向

- ・地域のつながりの希薄化
- ・単身世帯の増加
- ・次世代への技術や経験などの継承の必要性
- ・外国人増加に伴うグローバル化の進展
- ・東京2020大会を契機とした観光客の増加
- ・人々の働き方、ライフスタイルの多様化
- ・首都直下型地震
- ・情報通信技術の進展、産業構造の変化
- ・シェアリングサービスの進展 など

### 3. 区民ニーズ（区が重視すべき施策等）

#### ○世論調査

- 1位 防災対策
- 2位 安全な市街地整備
- 3位 子育て支援
- 4位 生活安全
- 5位 高齢者福祉

※世論調査：2018年度実施

※在住者向けアンケート、区内団体等意向調査：2017年度実施

#### ○在住者向けアンケート

- 1位 防災対策
- 2位 生活安全
- 3位 高齢者福祉
- 4位 子育て支援
- 5位 安全な市街地整備

#### ○区内団体等意向調査

- ・地域コミュニティ活性化
- ・健康づくりの推進
- ・子育て環境の整備
- ・高齢化への対応
- ・防災対策
- ・人材不足への対応
- ・外国人増加への対応
- ・ボランティア

### 4. 将来人口推計

#### ○総人口

2044年に447,884人でピーク

#### ○年少人口（15歳未満）

2036年に57,400人でピーク  
→今後10年以上増え続ける

#### ○生産年齢人口（15歳以上65歳未満）

2030年に293,193人でピーク

#### ○老年人口（65歳以上）

2018年(推計基準年)4月1日時点で  
81,693人→以降一貫して増加

## 策定委員会の意見

### 5. 主な意見

#### ○計画全体に関する意見

- ・10年後を見据えた視点
- ・計画を横串して貫く視点
- ・SDGsの視点
- ・人口構造の変化への視点
- ・国際的な人権基準、ジェンダーの視点
- ・価値観の多様化
- ・情報通信技術の進展、産業構造の変化
- など

#### ○分野別の意見

- ・オリパラ後のインバウンドへの対応
- ・在住・訪日外国人の受け入れ態勢
- ・スポーツ人口増加への取り組み
- ・障害者スポーツ環境整備
- ・働く女性の視点、子を育てる親の視点
- ・虐待対応、子どもを社会全体で育てる視点
- ・合計特殊出生率が低いなかでの年少人口増加
- ・認知症を理解し、地域で支える視点
- ・健康寿命の延伸
- ・貧困問題
- ・空き家対策
- など